

## はじめに

平成 17 年に愛知県で開催された 2005 年日本国際博覧会（愛・地球博）は、「自然の叡智」をテーマに掲げ、地球的課題を克服し人類と自然が共存し、持続的に成長が可能な社会を創造するための様々な提案と情報発信を行いました。この愛・地球博の理念を将来にわたって継承発展させると共に、愛・地球博の開催を契機に盛り上がった市民の自発的な社会貢献活動を支援するため、愛・地球博の収益金の一部を基金として、平成 19 年 8 月 30 日に、公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（愛称：あいちモリコロ基金）が創設されました。

あいちモリコロ基金は、平成 19 年 10 月から平成 29 年 6 月までの約 10 年間にわたって、NPO 法人などの社会貢献活動に対し合計 1,603 件総額 10 億 8000 万円の助成をさせていただき、平成 31 年 3 月に解散しました。あいちモリコロ基金の助成が、東海地方の NPO 法人などの活動をどのように活性化し、「地域の発展に寄与する」ことができたのか、10 年間にわたる助成の成果を検証し、今後の市民活動へのよりよい支援方法を考えるために、あいちモリコロ基金の最終報告書を作成し、広く公開することにしました。

私たちは、この 10 年間のあいちモリコロ基金の活動を通し、様々な NPO 法人などが、地域社会に新たに発生した、地域の環境問題、食品ロス問題、災害支援問題などに先進的に取り組むと共に、行政の手が届きにくい、子どもや青少年、高齢者、障害者、在留外国人の家族などの社会的弱者の方々が直面する様々な課題に積極的かつ果断にそして柔軟に取り組み、地道な活動を通して、社会に問題を提起し、社会が変わっていくきっかけを作っていくことを目の当たりにしました。このような市民の活動が、限られた予算の中で、少ない人をやりくりして、懸命に取り組まれている姿を見て、私たちも、時に感動し、時に大いに勇気づけられました。私たちの社会が多くの人にとって、楽しく、活気のある、住みやすいものになっていくためには、これからも市民の社会的活動が大きな役割を果たしていくであろうことを実感しています。この報告書が、多くの人が市民の社会的活動に関心を持ち、市民の社会的活動を支援し発展させていく追い風になることを期待しています。

最後になりますが、これまであいちモリコロ基金の活動を支えていただいた関係者の方々、あいちモリコロ基金に助成を申請された皆様に深く感謝申し上げますと共に、この調査報告書を謹んで上呈させていただきます。

平成 31 年 3 月

公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金 運営委員会

委員長 藤田 哲